

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 25 日作成)

委員会名	セメント・混和材料研究小委員会	主 査 名：名和豊春
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>新材料の技術の現状をまとめ、使用にあたって考慮すべき事項を抽出する。</p> <p>(1) 新規材料に関する情報の収集・整理 (1、2年度)</p> <p>(2) 建築用コンクリート材料の技術の現状の作成 (3年度)</p> <p>(3) 材料の性能規定設計法および新材料の品質基準(案)の作成 (4年度)</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>主査：名和豊春 (北海道大学)</p> <p>古賀康男 (幹事、宇部三菱セメ研)、井ノ川尚 (住友大阪セメ)、閑田徹志 (鹿島)、木之下光男 (竹本油脂)、黒岩秀介 (大成)、五味秀明 (電化)、菅俣 匠 (NMB)、杉山 央 (建研)、棚野博之 (建研)、谷村 充 (太平洋セメ)、壇 康弘 (新日鐵高炉)、西田 朗 (清水)、野口貴文 (東大)、水沼達也 (花王)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	委託研究費	

項 目	自己評価	
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回：2004/05/11 (12 名) 第 3 回：2004/09/15 (12 名) 第 5 回：2004/12/17 (13 名)	第 2 回：2004/07/22 (12 名) 第 4 回：2004/10/18 (10 名) 第 6 回：2005/01/28 (12 名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) セメントの新材料である石灰石フィラーセメントやシリカフェーム混合セメントなどについて、品質、コンクリートの性状、建築工事における取扱いなどを調査した。</p> <p>(2) 新規の混和材料であるシリカフェーム、膨張材、収縮低減剤、養生剤などについて、品質、使用方法、コンクリートの性状、効果、建築工事における取扱いなどを調査した。</p> <p>(3) 性能評価方法の検討として、高性能 A E 減水剤の評価方法や水和反応モデルについて情報を収集した。</p> <p>(4) 新材料の性能規定化に関連して、建築基準法の運用例、高強度コンクリート施工指針(案)・同解説における規定方法、学会内の過去の議論などを調査した。</p> <p>(5) 前項に関連して、収縮低減剤について品質基準試案を検討した。</p>	
	委員会 HP アドレス： なし	
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>セメントや混和材料に関して、新材料を中心に動向や実態を調査した。それと併行して、規定の有無、建築工事における取扱い、JIS 化または JASS 5T 化の可能性等について議論した。また、新材料を規格化する場合に考慮しなければならない性能規定について理解を深めた。これらは当初の活動計画に沿ったものである。また、目標に対して順調に成果を挙げており、4 年間の活動内容のうち、50%程度を達成していると考えられる。</p>	
その他評価すべき事項	2005 年度に受託研究が本格化するエコセメントについて、学識経験者から提出された試験計画を審議し、調整した。	